

# 土砂災害

## 土砂災害防止法について

福岡県では、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

### 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

### 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

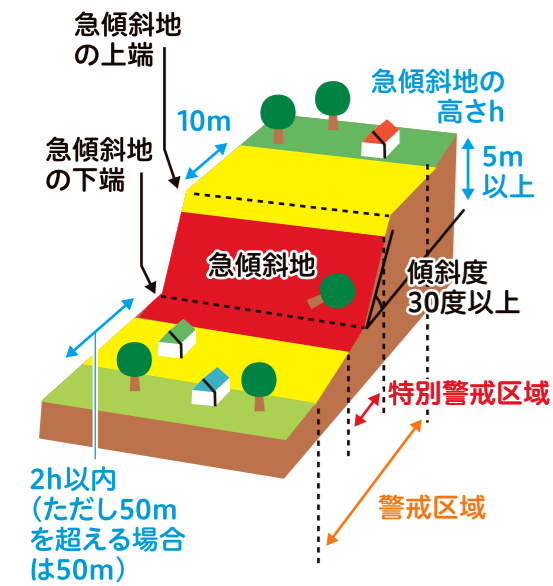
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

※指定区域の詳細内容については、福岡県ホームページまたは添田町役場（防災管理課・道路整備課）でご確認ください。

## 土砂災害の種類とその前兆現象

### 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



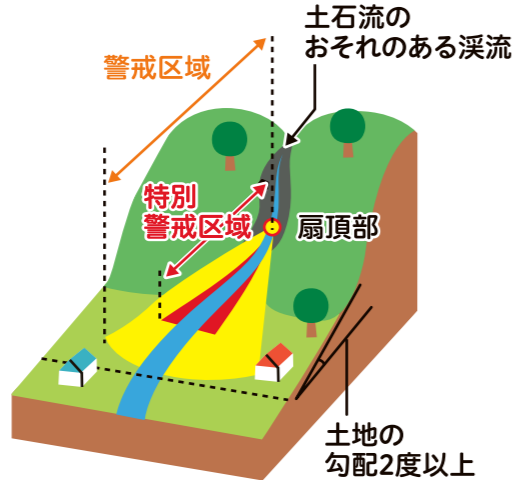
#### 前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる



### 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



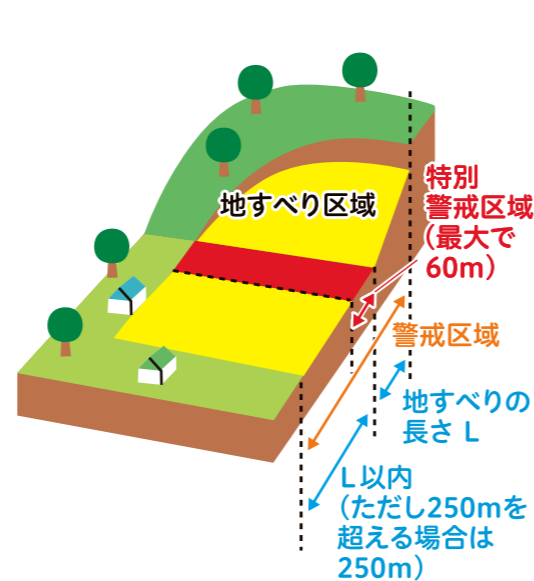
#### 前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



#### 前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す



## 土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

福岡管区  
気象台

福岡県  
土砂災害  
危険度情報



### 土砂災害警戒情報が発表されたら

- ハザードマップや大雨警報（土砂災害）の危険度分布で自宅周辺の危険度を確認しましょう。
- 添田町が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の状況や雨の降り方に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

## 危険度分布を確認しましょう（土砂災害編）

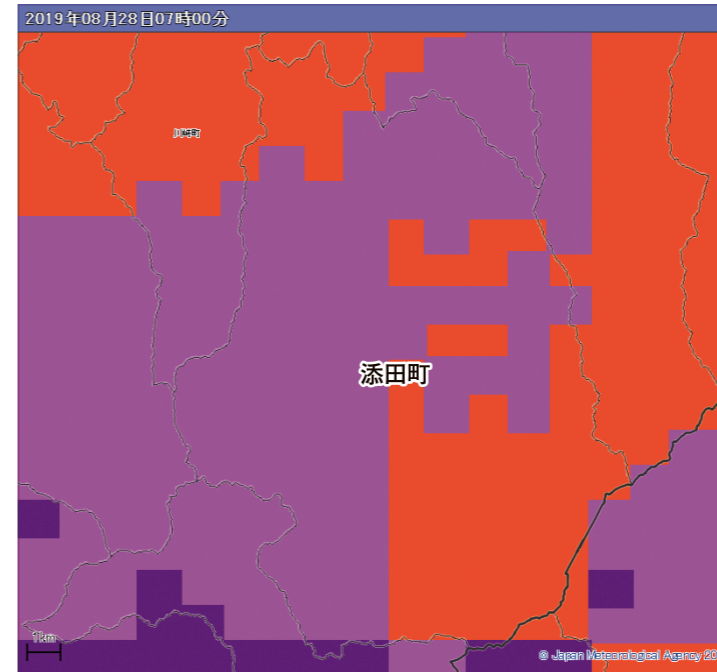


### 大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方（メッシュ）の領域ごとに5段階で色分け表示しています。避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値（10分ごとに更新）を用いており、大雨警報（土砂災害）、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



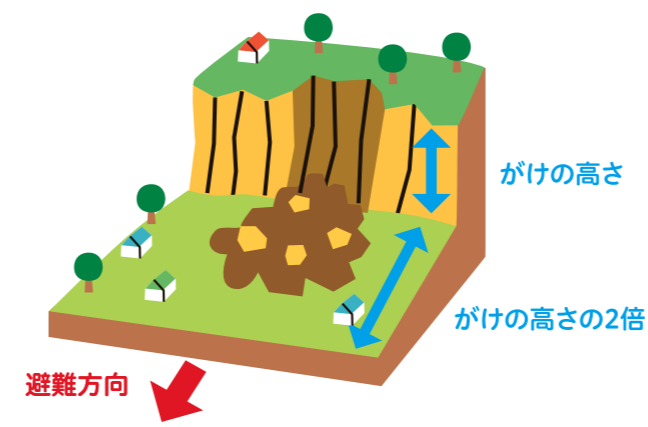
※気象庁ホームページより（一部加工）

色が持つ意味	説明
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況。命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず、 <b>極めて危険</b> な状況。 この状況になる前に避難を完了しておく。
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない <b>非常に危険</b> な状況。 遅くともこの時点で <b>速やかに安全な場所への避難を開始する</b> 。
警戒（警戒級）	避難の準備を整え、早めの行動を心がける。 高齢者等は <b>速やかに避難を開始する</b> 。
注意（注意級）	ハザードマップ等で避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

## 避難のポイント（土砂災害編）

### がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところががけの高さの2倍の距離までくるとわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



### 屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等（イエローゾーン・レッドゾーン）をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

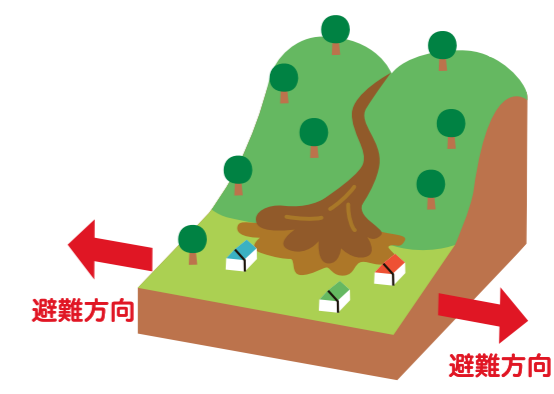
### やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



### 土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。また土石流が曲がる箇所では、かなり高い位置まで土石流がかけ上がるので、曲がりの外側のほうが内側より危険性が高くなります。



### 雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも大雨警報が発表されている間は、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。